

第5回鹿児島天文館まちゼミ

得する街のゼミナール「まちゼミ」67講座

名山・金生・いづろ・納屋・天神おつきや・中町ベルグ・照国表参道・天神コアその他共同開催

タイムスケジュール ☆ 第5回鹿児島天文館まちゼミ H30年10月10日～11月18日 ☆

平成30年8月16日(木)・・・第1回まちゼミ実行委員会(会則・印鑑など)原稿投げ

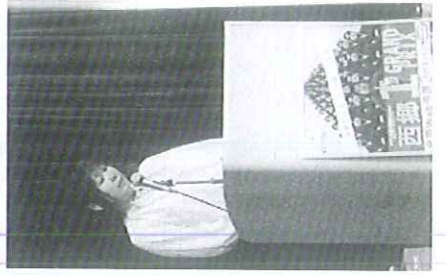
平成30年9月10日(月)・・・第2回まちゼミ実行委員会(大枠の決定)1コマ6,000円に、7万部チラシ作成

平成30年9月27日(木)・・・まちゼミ直前編開催(サンプラザ)ミニまちゼミ直前編開催(初試み)

平成30年10月1日(日)・・・第5回鹿児島天文館まちゼミ受付開始 マルヤさん全体朝礼で広報 各マスコミ、小学校へ

平成30年10月3日(水)～5日(金)・・・まちゼミチラシ6.5万部、リビンダ折り込み 新企画「まちゼミクーポン」作成

平成30年10月10日(水)・・・「第2回鹿児島県まちゼミフォーラム in 天文館」開催 130名参加 4分科開催 産業会館



マスコミ注目度・広報・・・第4回目の反省で広報と鹿児島県内に広めるに注力

「鹿児島県まちフォーラム in 天文館・130名参加」により、鹿児島天文館以外の鹿児島県内でまちぜみを実施する動きが出る。既に、「伊佐市」「霧島こくぶ」「鹿児島天文館」「いちき串木野」「鹿屋」「奄美」「さつま町」県内7か所 2018/12 現在 全国では、382か所 参加店舗20,052店舗 事業者が自ら行う「事業」として継続実施されている。

これまでにない事業になっている。

鹿児島県内のまちぜみネットワークが出来つつある。まちぜみを通しての地域間の交流。「まちぜみ仲間」の増殖。

またマスコミ、大学、金融機関などを訪問して参加を促している。教育委員会の後援などを含め、各マスコミの後援を受けて広報の新しい手段を確保できた。（鹿児島市、鹿児島県、商工会議所、中央会、などなどの応援も有難い）

感想・意見など（抜粋） その他、多くのご意見、ご提案を頂きました。アンケートから。

「H30年10月 第5回まちぜみ よかった点など」

時間をゆっくり設けて、お客様とお話しが出来た。より身近にお客様に寄り添うことで信頼関係が出来た。

講座を続けることで、受講者が確実に増えている。

告知の体制の充実してきた。後援が多く取れた。

まちぜみチラシは多く方が捨てないで見ている。講座の参加していない方も楽しみで見えておられる。単に消費されるチラシと違い次回に繋がるチラシだと思う。

商品に通常の接客よりもなお、興味を持って頂いた。

お客様がどんなへアアレンジを難しいと感じているかがわかった。今後に生かせる生の声を聞かせて頂いた。



店舗の業務内容を伝えられる。自店の必要性を再認識出来て、仕事への意欲がわいた。

6名の講座を10名に増やした。

講座終了後、実際の購入に繋がり、売上が上がった。

第5回目で最多の15名の参加。参加者さん、講師も満足した。

DM用の名簿を集めることが出来た。今後に生かしたい。

ダンスと健康を結びつけて、喜んで頂いた。参加者もアイドルを応援しながら健康管理も出来て喜んでおられた。

参加者さんがとても熱心に講座を聞き、実践して頂いた。

とても喜んで頂いたし、私達も嬉しい。売上にもつながった。

小人数だからこそ、ご意見などをしっかりと聞けた。

足の計測が初めての方ばかりで、「自分の足のサイズを知りたいいい機会になった」と喜んで頂いた。

「自分の聴力」がわかってよかった。

全ての参加者さんが、大満足だった。

ヨガに興味はあるが、接点や機会のなかった方々が多く参加して頂いた。

西本願寺さんとの接点が出来た。

自分のやりがいに繋がった。

当店のことが気になっていた方が、まちゼミで気軽に入店して頂いた。

前回受講できなかった方が受講出来て良かった。(6か月お待ちいただけ)

自分のスキルアップにつながる。

「初めてでも参加しやすい」「初心者にもわかりやすい」などのお言葉を頂いた。

参加されたお客様はとも喜んで頂き、そのことがうれしかった。

参加者の方が協力してくださり、和やかな講座となった。

「まちゼミ」の参加者は、所謂、客層がいい。

場所がわかりにくい場所での開催だったが、その場所を知って頂くきっかけになった。



場所の前に「まちゼミ」のロゴを掲出したら、お客様も安心してお越し頂けた。「まちゼミ」のブランディングが出来ているのでは。
アンケート用紙に記入頂く時、「次回以降のまちゼミチラシを郵送します」と言うと、名前、住所などを積極的に記入頂いた。

着物がこんなに簡単に着られる、嬉しいとの声を聞いて嬉しかった。

少人数だったのも、やり取りが出来て良かった。自分のスキルアップにつながる。

普段と違う話しが出来て良かった。

参加者が少ない分、お互いによく話しが聴けた。

人気の物産展の裏話しをすることで、またコアなお客様が出来た。

曜日の工夫が集客につながった。

直接の商売とは違う目線でお客様の役に立てた。時代が求めていると感じた。

エンディングノートとのコラボ初企画。こんな講座をお客様が本当に望んでいるのではないか。

行政書士、司法書士など敷居が高いと感じておられる、お客様が身近になったとおっしゃって下さった。

撮影会にしたことで、猫好きが集まり良かった。お店を知ってもらえた。

参加者が少なかったおかげでより、コミュニケーションが深まった。

全員が大満足でよかった。

野村證券と取引のないお客様だけだった。

3回連続のまちゼミ参加で、人間関係もつくれて、仕事依頼も受けることが出来た。

0人ではなかった。

ご来店前に、お名前などの情報を聞けた為、事前に資料を準備できた。

農家さんとお客様をつなぐことが出来た。

講座内容が好評で、再来店など利益につながった。

自身の知識の精査などインプットのいい機会になった。

自店舗で出来る、いい取組だと思ふ、全国で広がっている訳が理解できる。

試飲が好評。



みなさんと会話しながら堅がるしい事なく、楽しんでもらえたこと。
お茶室とのコラボで可能方は、写真を撮り、ラインでお送りして喜ばれる。
県内の最中の話を熱心にお聞き頂いた。

お子様が喜ぶと親御さんも喜ぶ、キッズ企画はいい。

まちゼミの名前を言えば、あーあれと言われるようになった。

新たなご縁ができた。天文館まちゼミのことは知ってもらえた。

個人的な話が気軽にできた。興味をもって聞いて頂いた、また質問があった。お客様の和やかなお顔がうれしかった。

「H30 年 10 月 第 5 回まちゼミ 少し改善したい点など・・・アンケートから。」

1講座2名ぐらいがいいかも、時間の配分に気をつけたい。

1講座5名で受けているが、当日の欠席者もいるので、電話確認と6名ぐらいの応募にしてもいいかも。

クーポンは初企画でいいが、わかりにくい。受講者にはどの店でも使える独自のサービスのクーポンにしたら。

店舗のスタッフにも、勉強を兼ねて、社員教育の一環として「まちゼミ」講師をさせる。
時間が足りなかった。

まちゼミの事前の内容をしっかりと把握していなかった為、内容がはきりわからなかった。(まちゼミの実践編などに参加すべき)
日程や曜日の設定をもう一度考えたい。

人数を増やした為、場所が少し狭かった。

講座を進める、手順を書いた「ペーパー」を配布したい。

講座はうまく出来るようになったので、更なる集客を図りたい。

ファン以外のお客様を増やしたい。



講座予定日が、他の研修と重なり、1講座開催できなかった。スケジュール管理を徹底したい。予約が定員オーバーとなり、その日に2回講座を実施した為、とても疲れた。別の日に新たに日程を設定すればよかった。講座にいろいろ詰め込みすぎて、手が回らない。他にもイベントが多く、少し疲れた。

事前準備があまりできなくて、当日まで不安だった。

土曜日。日曜日の開催で、売り場にお客様が多く、計測スペースが狭かった。声が聞こえにくいこともあり別会場も視野に入りたい。

講座への集客が少ない。個別の対応となり興味を持ってもらえない気がする。

おはら祭りと重なり、集客が少なかった。後半の講座の集客を図りたい。

開催時間の工夫。平日なら夕方の開催もしたい。

事前にアンケート用紙を準備できなかった。

内科の先生との「初コラボ」だったが熱心にお聞き頂き、質問も多くあった。

天文館に店舗を持っていない為、場所の選定をしっかりとりたい。

集客が課題（開講するなら満席にしたい）

何回が実施すると、少し気が緩み、準備が遅くなる。早めの準備をしたい。

想定より多くのお客様の参加希望があり、枠を確保できないお客様がいらした。

次回は追加講座などを考えたい。

コラボ講座の為、その場に商品がない。場のコラボの場合はそこをよく考えたい。

予定より参加者が少なかった。集客が問題。

クーポンなどの再来店の工夫を場所貸しでもすべきだった。

帯を結ぶ時間などをつくりたい。

ワークのような物を準備してもよかったのではないか。

講座の対象年齢が幅広く、対応に困った。年齢（年金の話）を2つグループに分けた講座が必要かも。

質問も多く、時間が足りないくらいだった。（脱線話しも多かった……それはそれでいいかも）

土業の為、もっと講座回数を増やしてもいいかも。



開催日と時間の設定を再考したい。
サラリーマンを対象とした夜間講座などでもいいかも。

前準備があまりできなくて、ぶっつけ本番になってしまった。ストーリーを組み立てることが自分の為にも重要。
集客できる講座の設定。

次につながるスツップの準備、次の来店特典などの準備が不足していた。
料理のレシピをお客様に準備していなかった。

お店の考えをしっかりとお客様へお伝えすることが出来る。
スツップの勉強になる。

準備などの効率をどう考えるかが問題。時間をとられすぎても困る。
用意したA4ペーパーでは、足りない為、そこを工夫したい。
名山の店舗を増やしたい。

時間配分をしっかりとりたい(初参加)

他の企画と重ならない日程の設定が必要。

こどもまちゼミのような、お子様を講座に入れることを考える。

タイトルの大切さを感じたと同時にタイトルと講座内容が違わないようにしたい。

話しの流れを事前に決めておかないと時間内に終わらないし、講師がしゃべりすぎる。

チラシは6.5万部折り込みでいいのか(鹿児島市27万世帯)。...チラシ配布の効果を見てチラシ折り込みを少なく出来ないか？
手ぶらで来られる講座がよかった。近所の人にまた来てほしい。

だれに来て頂きたいかをしっかりと考える。



「今後こんなことがしたい」

スタンパリーなどをして回遊性の確保をしたらいいのでは？

スーツやフインバルなど。

面白くておかしい企画。楽しくないと続かない。

街ぐるみで「恋」活。

クーポンの工夫。

コラボ企画を増やしたい。資格を全面に。成功事例を参考にする。

まちゼミの回数を重ねる(PDCAをしっかりと)。講座の写真、動画を集積したい。

「天文館で参加店舗を増やすには」

講座をやった人が友人や店舗を誘う。

各通りで理事長が頑張る。

青年部の組織を活用する。

各通りの事務局を巻き込む。

飲食店を巻き込む。

やはり「一緒にやってみませんか？」のどぶ板作戦。

実行委員会のメンバーを増やしたり、かえたりする。

5回終了したので、ここで、「まちゼミ」の原点に戻る。

何の為にやるかを再確認する。

「まちゼミ」に参加する最低条件を話し合いで決める。…まちゼミ勉強会への参加は必須。

大切な地域の為まだ
まだやる事がある。
挑み続け、諦めない！

第5回まちぜミ収支

※収入(円)

自己資金	179,100	いづろ・名山・金生・納屋・中町ベルグ・天神・照国負担
市補助金	156,000	頑・張る補助金(いづろの分使用)
参加費	402,000	講座@6,000円 6,000円×67講座=402,000円
合計	737,100	

※支出(円)

広告宣伝費	245,700	6.5万部R折り込み×@3.5円×1.08
印刷製本費	491,400	チラシ・7万部×@6.5円×1.08
合計	737,100	

☆講師を招聘する資金は、鹿児島商工会議所（中小機構）さん、鹿児島市さんの補助を受けています。（まちぜミフォーラム）



今後の収支に対する問題点（経費の件）・・・第6回目の検討事項。

1. 各通りの会の負担をコマ案分出来ないか？・・・各通りで案分はできた。第4回では、各通り1コマ4,080円負担が第5回では2,673円へ（65.5%減）
2. 複数講座の場合のコマ料金の徴収の仕方。・・・現状は1コマ5,000円→6,000円へ変更（収支は改善）
3. 通りでない店舗負担・・・・・・・・・・現状は、いづろが負担
4. コラボも1枠で6,000円・・・・・・・・・・実施できた
5. 現在、いづろの頑張る補助金を使っているがそれでもいいのか。・・・頑張る補助金を使わないが理想だがここ数回は致し方なしでは？第3回は17万
6. 折込み数などの検討。・・・・・・・・・・鹿児島市27万世帯（現在6.5万世帯に折り込み）ここが経費として大きい。
7. 事務局を巻き込む。・・・・・・・・・・参加の通りで温度差がある。世話人作りをする方が早いのでは？→実行委員会が通りをまたいで出来る
8. その他・・・・・・・・・・「まちぜミ」の参加者は、まちぜミの入門編、実践編、直前編の内1つは必ず受けるなどの約束

「まちぜミ」は本来、事業者が自ら実施する「コミュニケーション事業」。回数を重ねる段階で補助金や通りの負担金なしでやるのが理想。

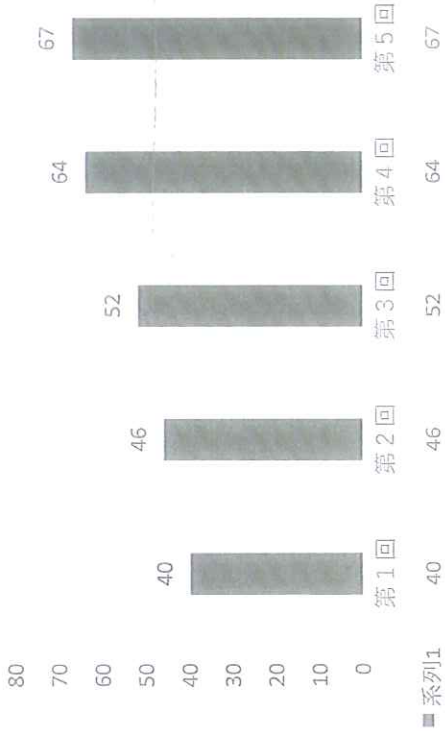
☆第6回（2019/5？）原点に戻り、「まちぜミ」の意味を再考する！

参考

「鹿児島天文館まちゼミ」5回の推移 H28年5月からH30年10月

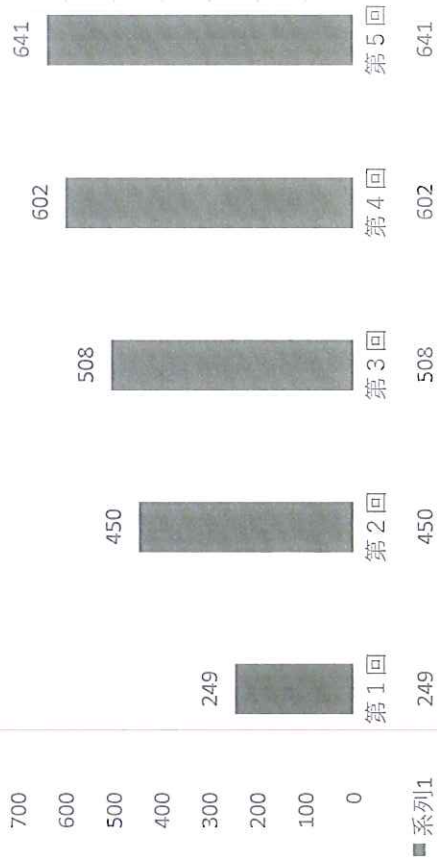
回数	年度	月（約1か月）	講座数	受講者数（人）	前回比（受講者数）
第1回	H28年	10月	40	249	
第2回	H29年	5月	46	450	180.7%
第3回	H29年	10月	52	508	112.9%
第4回	H30年	5月	64	602	118.5%
第5回	H30年	10月	67	641	106.5%

講座数推移



参考

受講者数推移（人）

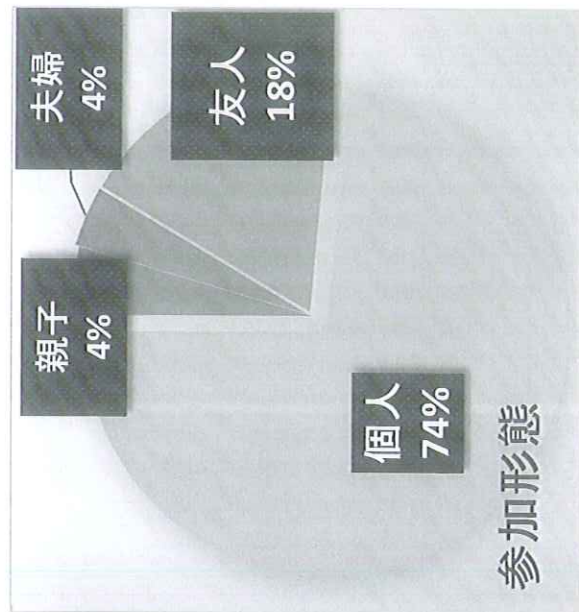
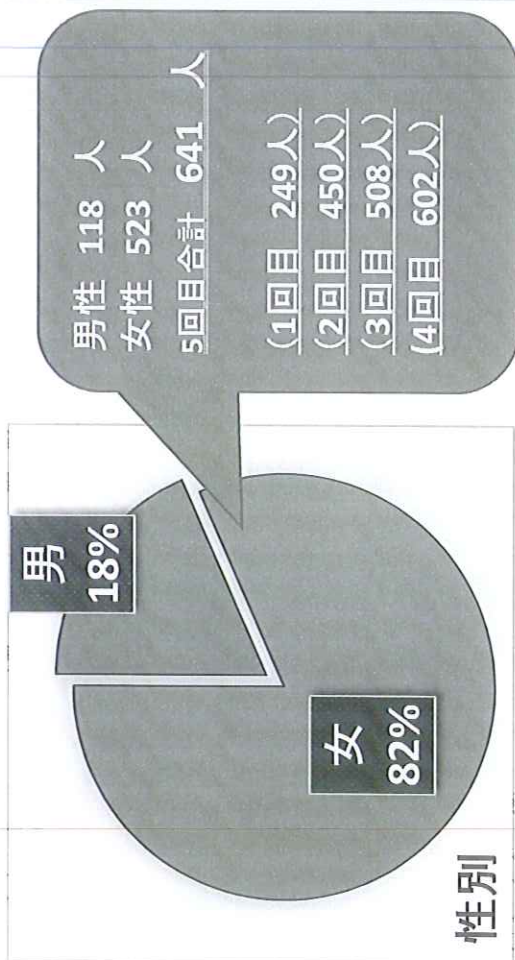


「第2回鹿児島県まちゼミフォーラムin天文館」 経費など

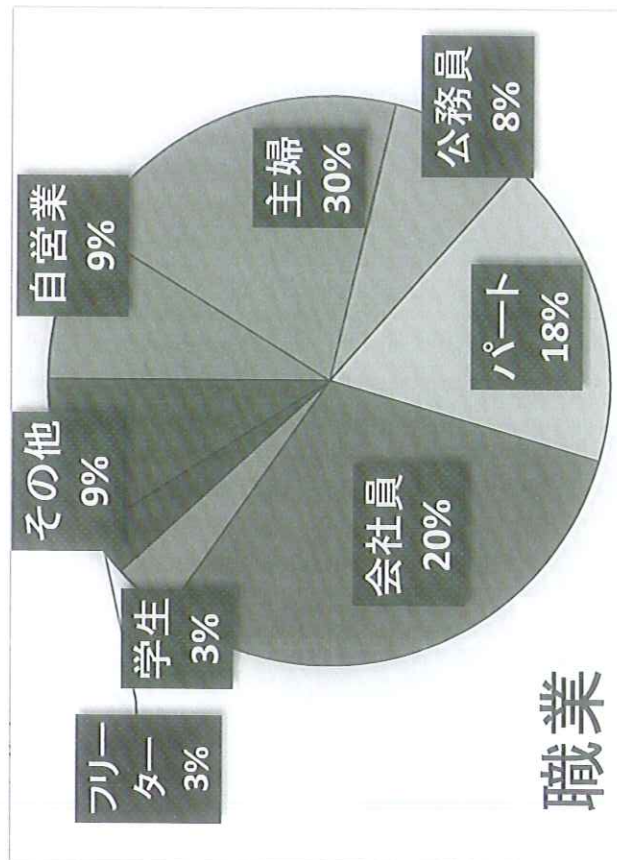
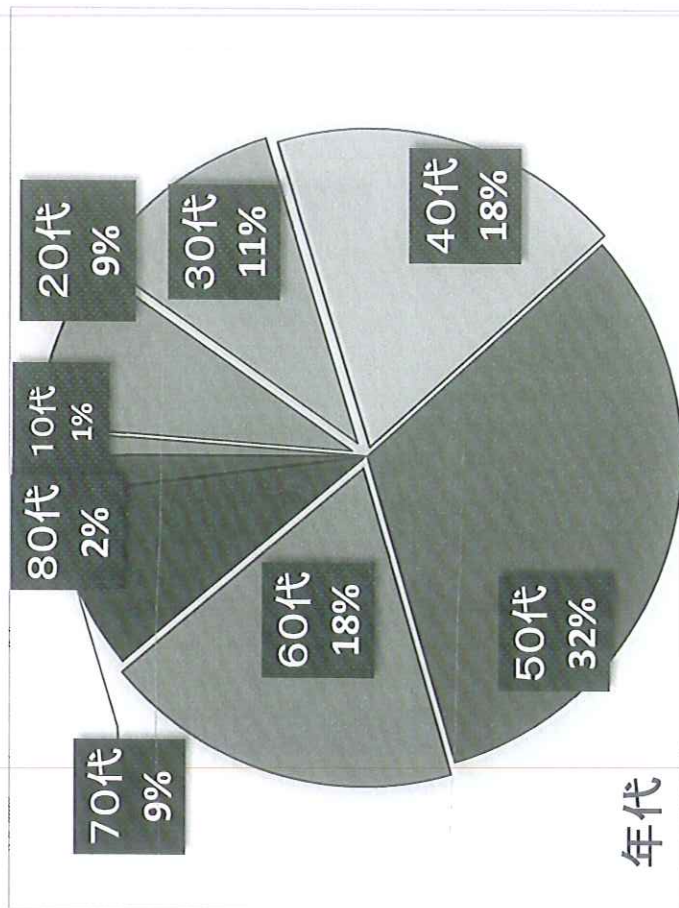
会場費	無料	鹿児島県
横断幕	無料	ユニカラー（ご協賛）
会場の花	無料	まちゼミ仲間（金高さん提供）
西郷どん	無料	竹原・亀岡（いちき串木野・まちゼミ仲間）
竹本さん	中小機構	商工会議から
松井さん	鹿児島市	産業支援課
河井さん	無料	ご好意
会場OP	14,040	タイセイビルサービス（2人）
懇親会	10,500	招待者3人

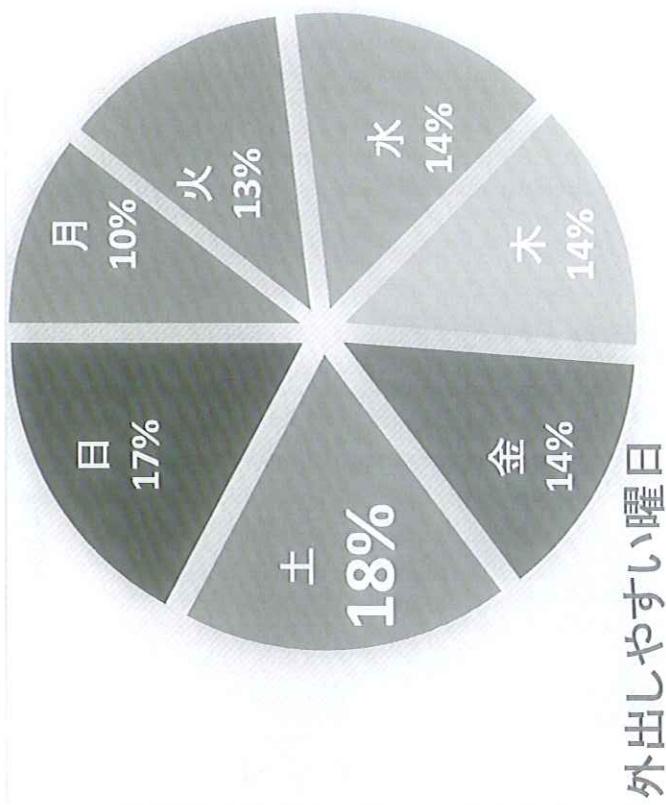
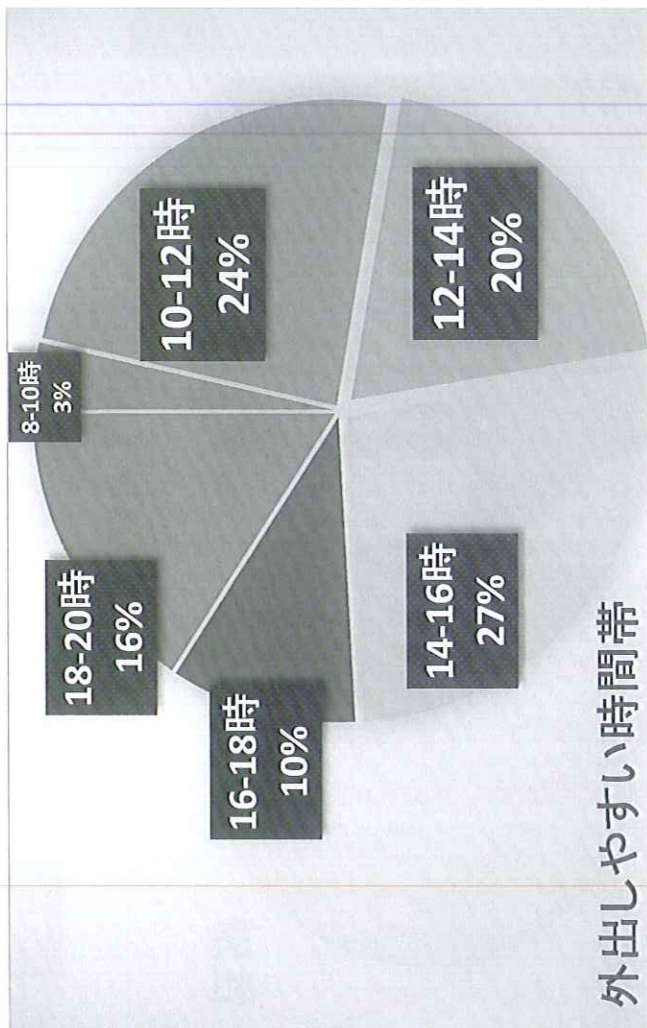
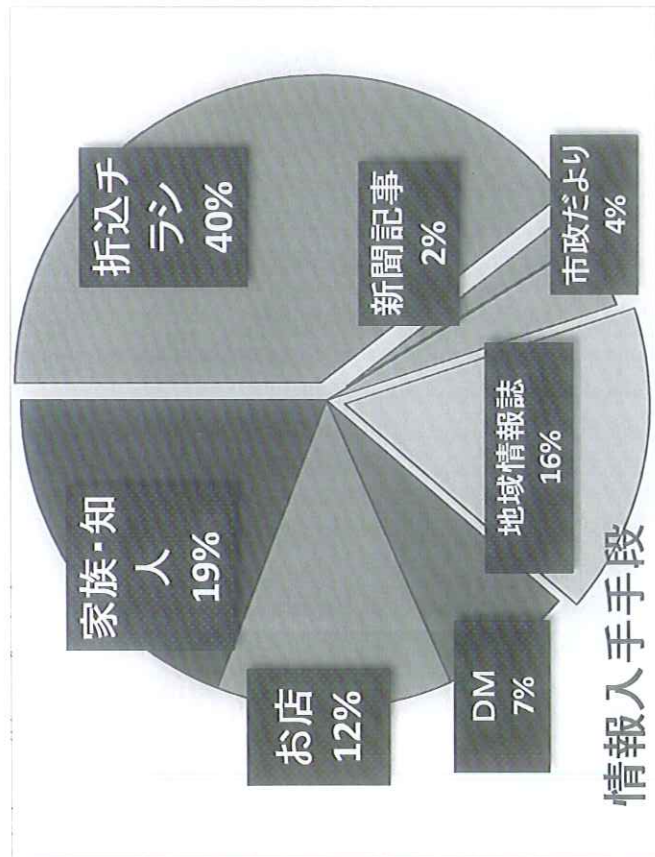
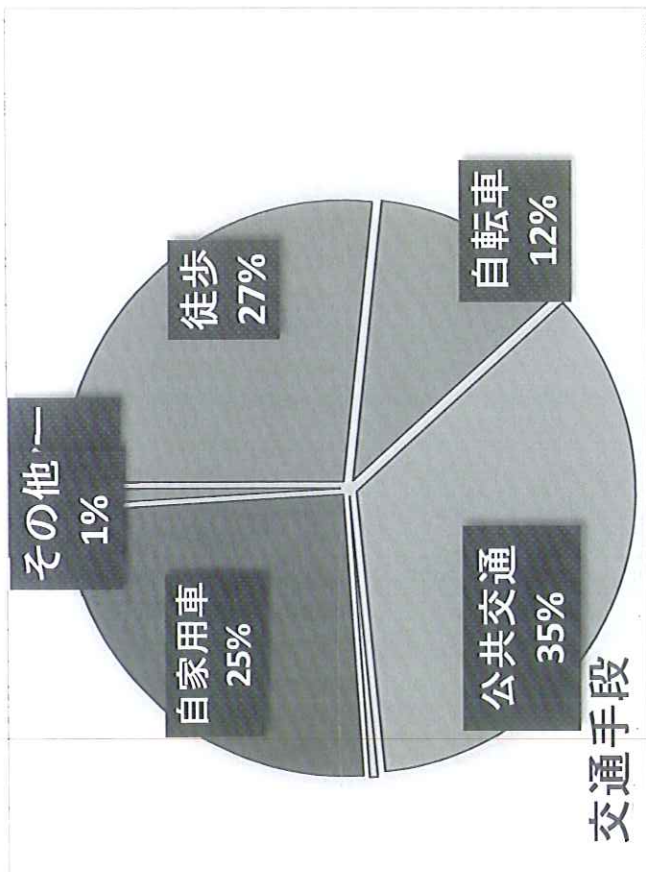
☆その他、印刷代、実行委員会印鑑、クーポン印刷

チラシ郵送（105部）などいづろ経費を使っています。



10





お客様の希望するテーマ

12

